

もしも心電図で循環器を語るなら 第2版

香坂 俊(著)

札幌東徳洲会病院救急センター部長

増井伸高

「もしも心電図で循環器を語るなら」を語る

あの香坂俊先生の名著『もしも心電図が小学校の必修科目だったら』が全面改訂された。しかもタイトルは『もしも心電図が小学校の必修科目だったら2』ではない！

◆本書は「ダークナイト」である。

映画「トイ・ストーリー」も「アナと雪の女王」も続編は「2」や「3」と数を重ねる。ヒット作に数字を重ねておけば前作の恩恵が受け継がれるからだ。しかし本書は旧タイトルと決別し、さらなる昇華をめざしている。私は、映画「バットマン ビギンズ」の続編である「ダークナイト」が、タイトルからバットマンを外したのを思い出してしまった。

話題を書籍へ戻そう。前版で目次にあった「国・数・社・理……」などの7科目7章が、今版では「不整脈・虚血性心疾患・予防医学」の3科目5章へと整理されている。中高大まで卒業した臨床医の心電図必修3科目だ。こうなるとタイトルを変えずにはいられない。しかし改訂版でも、

- ・ST低下でも安定狭心症ってどれくらい「安定」しているのか？
- ・健康診断での心電図のスクリーニングをどうするか？
- ・心電図の自動解析を信じてよいのか？

といった、われわれ臨床医が知りたい内容は引き継いで語られる。これは読まずにはいられない。

◆本書は「エイリアン(ディレクターズ・カット版)」である。

さらに今回の改定のポイントを数値化したのが、初版192ページが改訂版178ページとなった点だ。そう約1割も減っているのだ！(ふつう医学書の改訂版では、前版の不足部を加筆するので2割増しになる)。1割減のカラクリは、前作から8

年の経過で古くなった当時の文献・情報を香坂先生が圧縮し、美しくまとめているためだ。本書に情報のドカ盛りはない。過去の文献への決別方法と、最新文献への出会い方が示されている。初版読者もUP DATEに自信がなければ、改訂版は絶対に読むべきだ。税抜き3,200円と超コスパの良い情報収集方法は買いである。

私は、映画「エイリアン(ディレクターズ・カット版)」では上映時間が短くなったのに、編集が秀逸で傑作化したのを思い出してしまった(ふつう映画のディレクターズ・カット版では、監督が未公開シーンを増やすので上映時間が2割増しになる)。

◆本書は「ショーシャンクの空に」である。

本書を読み終えると驚きである。心電図がなかなか出てこないのだ。全178ページ中に心電図を占める割合は約17ページしかない。90%で循環器が語られ、10%を占める心電図は文章の間の記号のようなモノなのだ。

これは本書が心電図の「ハウツー本」でなく「考え方の本」である証拠だ。「所見A→循環器コール」、「所見B→経過観察」と示すハウツー本では、所見Cや所見Dに対応できない。しかし心電図の考え方を本書で理解できれば、所見A～Zまで適応力は無限大だ。タイトルの割に心電図があまり出てこない本書。私は、映画「ショーシャンクの空に」でショーシャンクという言葉がなかなか出てこないのに、あんなに感動したのを思い出してしまった。

話題を書籍へ戻そう。巻末でAIと機械学習が心電図診療をどう変えるか、その未来予想図を描きエピローグを迎える。私が本書を通読した時間は2時間30分。名作映画を見終えたような感動と余韻を心の中に残したまま、これからベッドサイドへ行こうと思う。

●A5/頁178/2021年 定価：本体3,200円＋税 [ISBN978-4-260-04293-2] 医学書院 刊